

平成 21 年（2009 年）7 月

沖縄地方の天候

平成 21 年 8 月 3 日 沖縄気象台

天候経過	1
平均気温・降水量・日照時間の 平年差（比）と階級	2
大気の流れ	3
日々の天気図・気象概況	4～7
地上気象経過図 名護・那覇・久米島・南大東島 宮古島・石垣島・西表島・与那国島	8～9
アメダス（月平均気温・月降水量・月間日照時間） 分布図	10
極値・順位更新表 生物季節観測表	11

本件担当：沖縄気象台業務課気候・調査室
お問い合わせ先：098-833-2186

天 候 経 過

2009年7月

沖縄地方では期間中、高気圧の範囲内で晴れの日が多かったが、期間前半を中心に前線や低気圧、湿った気流の影響で曇りや雨の日があった。平均気温は、各地で平年を上回り、地域平均平年差は+0.5℃となった。降水量は宮古島を除き各地で平年を下回り、地域平均平年比は61%となった。

気温：高い

降水量：少ない

日照時間：平年並

上旬：期間の前半は前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多かったが、後半は高気圧の範囲内で晴れの日が多かった。3日には前線の影響で雷を伴った激しい雨が降り、奥で70.0mm、本部で43.0mmの日最大一時間降水量を観測した。

気温：平年並

降水量：多い

日照時間：少ない

中旬：期間中、高気圧の範囲内で晴れの日が多かったが、先島諸島では期間の前半に湿った気流の影響で曇りや雨の日があった。与那国島では13日に日最大1時間降水量21.0mmの強い雨を観測した。平均気温は各地で平年を上回り、地域平均平年差は+0.5℃となった。

気温：高い

降水量：平年並

日照時間：平年並

下旬：期間中、高気圧の範囲内で晴れの日が多かった。石垣島では31日に日最高気温35.1℃を観測し猛暑日となった。平均気温は各地で平年を上回り、地域平均平年差は+1.1℃で「かなり高い」となった。降水量は各地で平年を下回り、地域平均平年比は11%で「かなり少ない」となった。大東島地方では7月に入って降水量の少ない状態が続いていたことから、21日と28日に「少雨に関する大東島地方気象情報」を発表し、農作物や水の管理に注意を呼びかけた。

気温：かなり高い

降水量：かなり少ない

日照時間：多い

平均気温・降水量・日照時間の平年差（比）と階級
2009年 7月

【上旬】

	気温 (°C)	平年差 (°C)	階級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階級
那 覇	28.3	0.0	0	46.5	92	+	76.4	96	0
久 米 島	28.4	0.0	0	37.0	85	+	83.5	103	0
宮 古 島	27.9	-0.5	-	181.5	552	+	46.2]	×	×
石 垣 島	29.2	0.0	0	29.5	62	0	76.9	86	-
与那国島	28.4	-0.2	-	7.0	21	0	75.9	90	-
南大東島	28.4	+0.3	0	11.5	30	0	98.0	112	0
沖縄地方		-0.1°C	0		162%	+		86%	-

【中旬】

	気温 (°C)	平年差 (°C)	階級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階級
那 覇	29.6	+0.9	+	0.5	1	-	86.2	102	0
久 米 島	29.6	+0.9	+	1.0	4	0	106.2	120	+
宮 古 島	29.1	+0.5	+	12.5	34	0	90.2	107	0
石 垣 島	29.7	+0.2	0	20.5	67	0	95.0	104	0
与那国島	28.9	+0.1	0	64.0	242	+	88.0	99	0
南大東島	29.4	+1.0	+	0.0	0	-	117.3	133	+
沖縄地方		+0.5°C	+		70%	0		106%	0

【下旬】

	気温 (°C)	平年差 (°C)	階級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階級
那 覇	29.6	+1.2	+	15.0	19	-	91.2	114	0
久 米 島	29.6	+1.2	+	15.0	21	0	89.0	106	0
宮 古 島	29.6	+1.2	+	3.5	5	-	99.1	124	+
石 垣 島	30.2	+1.0	+	0.5	1	-	103.3	121	+
与那国島	29.2	+0.7	+	5.0	7	-	97.8	115	0
南大東島	29.5	+1.2	+	0.0	0	-	97.4	113	+
沖縄地方		+1.1°C	+		11%	-		116%	+

【7月】

	気温 (°C)	平年差 (°C)	階級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階級
那 覇	29.2	+0.7	+	62.0	35	-	253.8	104	0
久 米 島	29.2	+0.7	+	53.0	38	-	278.7	110	+
宮 古 島	28.9	+0.4	+	197.5	143	+	235.5)	95	-
石 垣 島	29.7	+0.4	+	50.5	32	-	275.2	103	0
与那国島	28.8	+0.2	0	76.0	59	0	261.7	101	0
南大東島	29.1	+0.9	+	11.5	8	-	312.7	119	+
沖縄地方		+0.5°C	+		61%	-		103%	0

- (注) 1. 「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。
 + : かなり高い(多い) + : 高い(多い) 0 : 平年並
 - : 低い(少ない) - : かなり低い(少ない)
2. 「降水量」欄の - は無降水を示す。
 3. 沖縄地方の平年差(比)とは、那覇・久米島・宮古島・石垣島・与那国島の5地点の平年差(比)の平均値を示す。
 4. ")”付きの値は準正常値(欠測を含むが許容する資料数を満たす)を意味する。
 5. ")”付きの値は資料不足値(欠測を含み許容する資料数を満たさない)を意味する。
 6. 表中のデータは気象官署(気象台、特別地域気象観測所)における値である。

大気の流れ（北半球の天気図の概要）

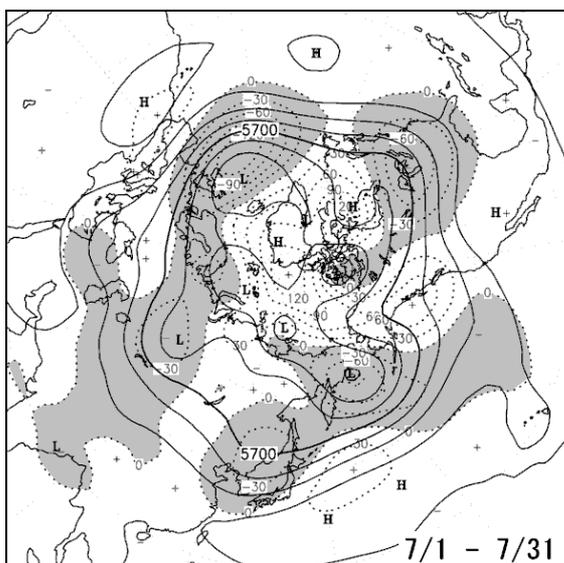
2009年7月

500hPa面の高度（左図）は、中国東北区からカムチャツカ半島を経て日付変更線にかけて平年より低く、その他の極東域で平年より高くなった。

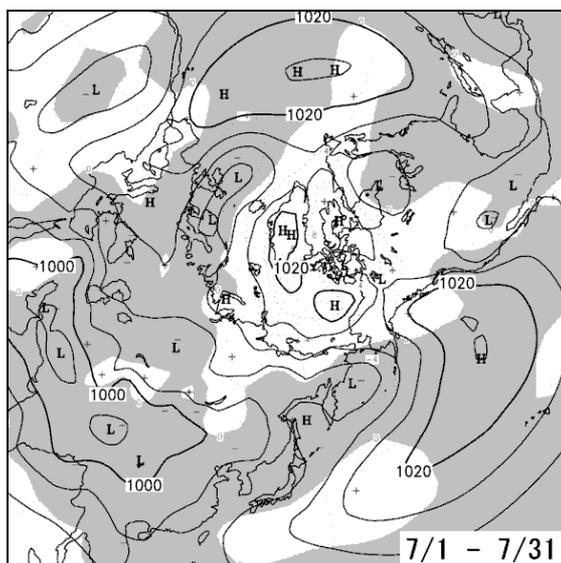
海面気圧（右図）では、極付近からバイカル湖付近にかけてと日本の南から日付変更線にかけて平年より高く、その他の極東域で平年より低くなった。

亜熱帯高気圧は日本の南東海上に位置し、平年に比べて西への張り出しは強かった。

沖縄地方では、高気圧の範囲内で晴れの日が多かったが、期間前半は前線や低気圧の影響で曇りや雨の日があった。



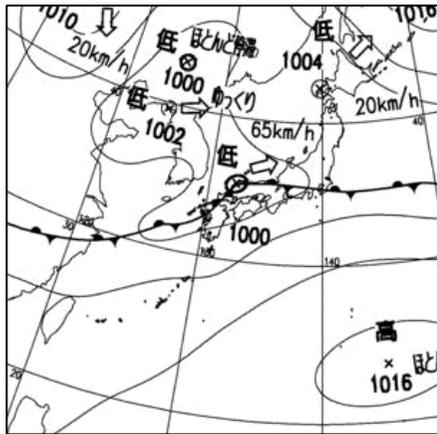
左図 北半球の500hPa面の平均高度
等値線の間隔は実況（実線）が60m、
平年差（破線）が30mである。
陰影部は高度が平年より低い領域を示す。



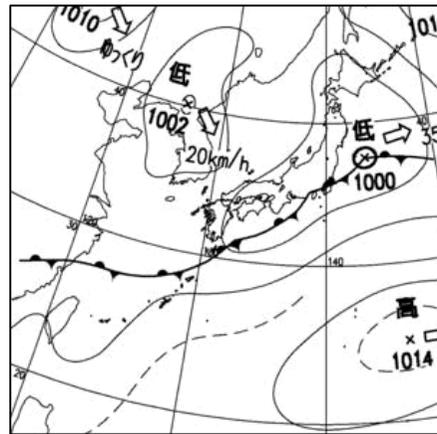
右図 北半球の平均海面気圧
等値線の間隔は実況（実線）が4hPa、
平年差（破線）が2hPaである。
陰影部は気圧が平年より低い領域を示す。

日々の天気図（午前9時）・気象概況

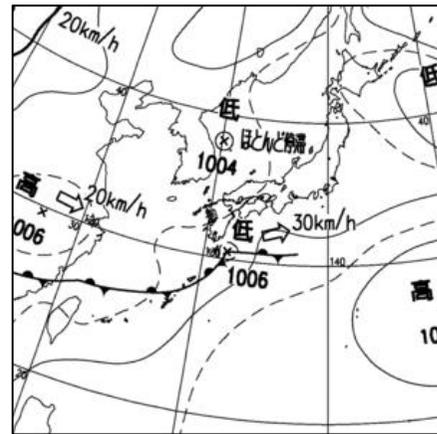
2009年7月1日～7月8日



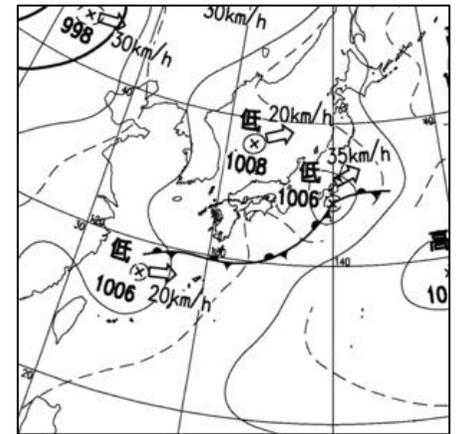
2009年7月1日
高気圧の範囲内となる。



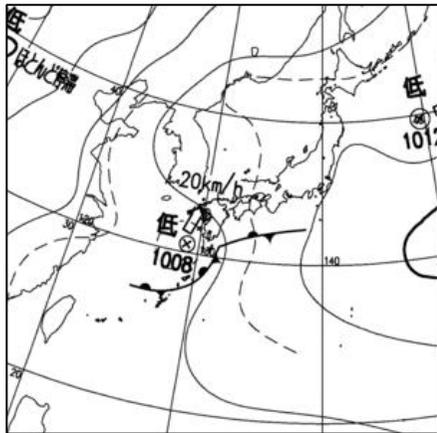
7月2日
高気圧のへりにあたる。



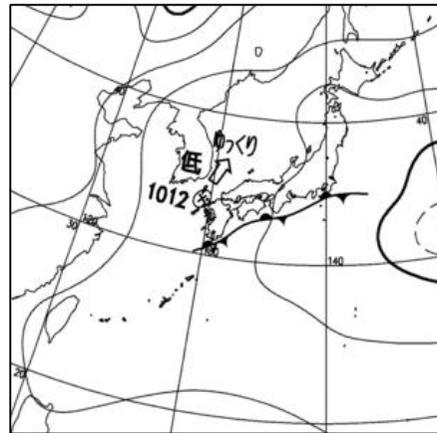
7月3日
前線の影響を受ける。大東島地方は高気圧の範囲内となる。



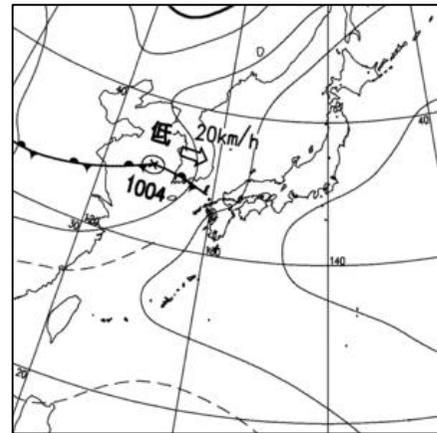
7月4日
低気圧の影響を受ける。



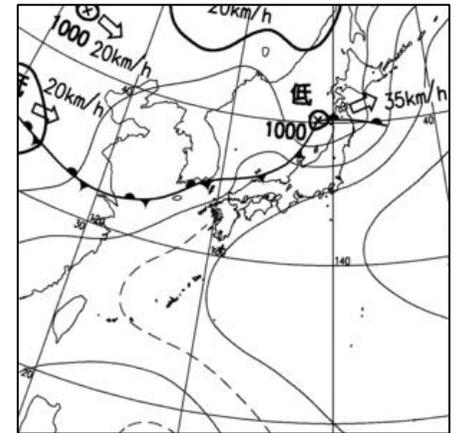
7月5日
前線の影響を受ける。大東島地方は高気圧の範囲内となる。



7月6日
高気圧の範囲内となる。



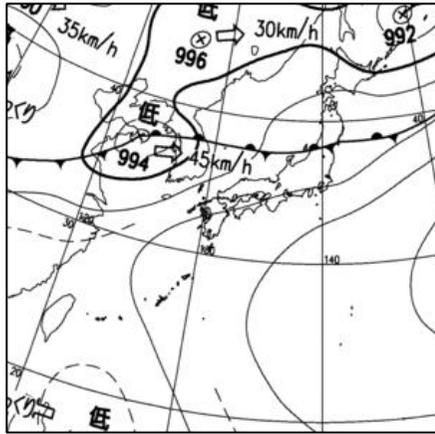
7月7日
高気圧の範囲内となる。



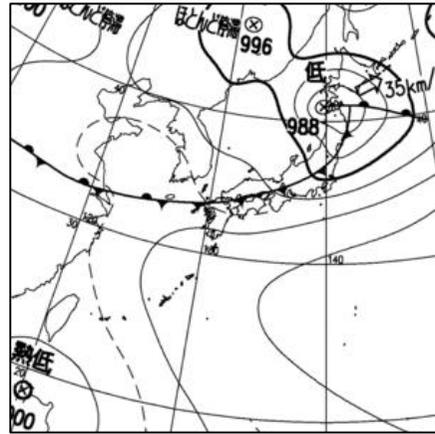
7月8日
高気圧の範囲内となる。宮古島地方は湿った気流の影響を受ける。

日々の天気図（午前9時）・気象概況

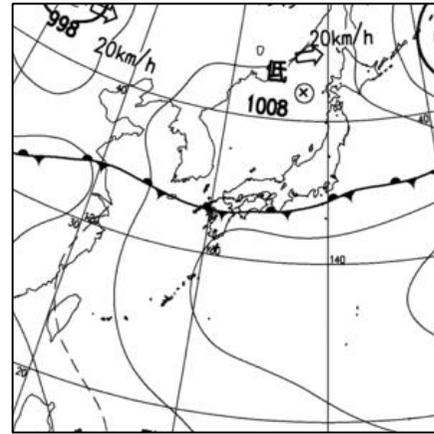
2009年7月9日～7月16日



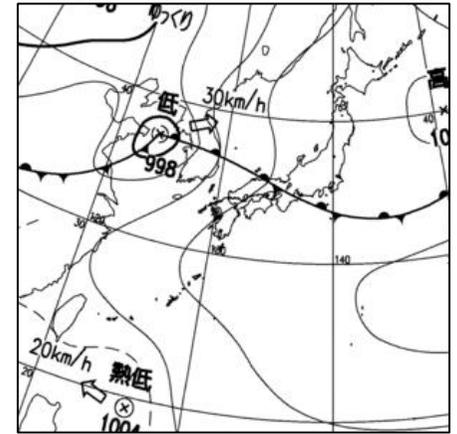
7月9日
高気圧の範囲内となる。



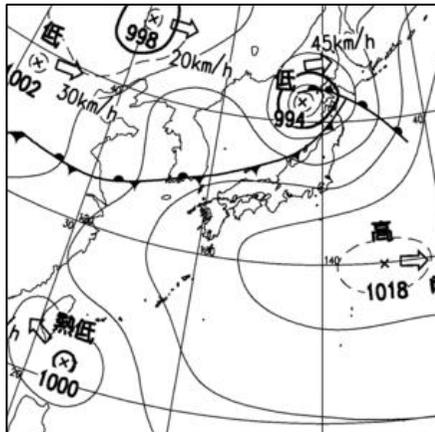
7月10日
高気圧の範囲内となる。



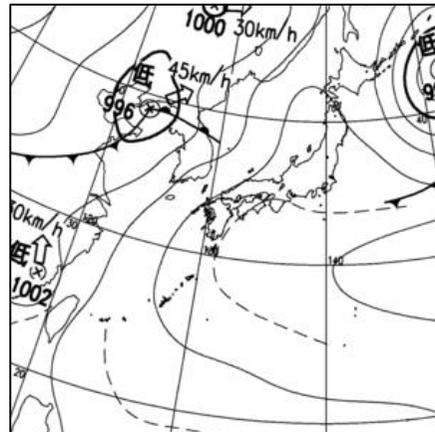
7月11日
高気圧の範囲内となる。



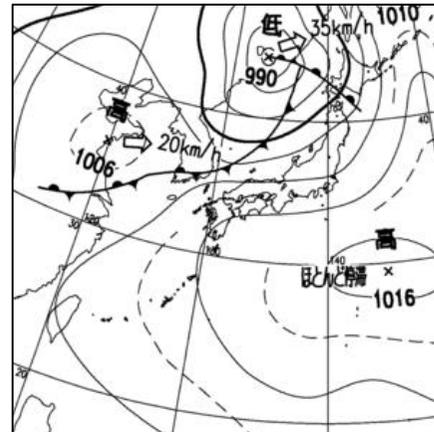
7月12日
高気圧の範囲内となる。先島諸島は湿った気流の影響を受ける。



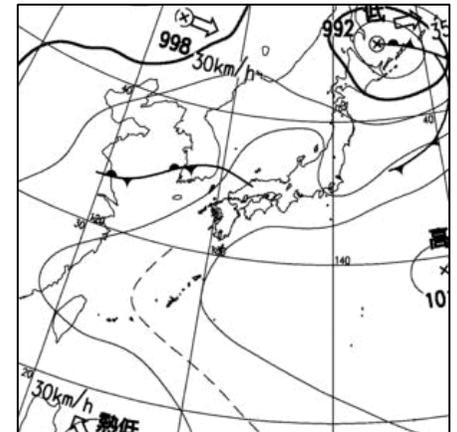
7月13日
高気圧の範囲内となる。先島諸島は湿った気流の影響を受ける。



7月14日
高気圧の範囲内となる。



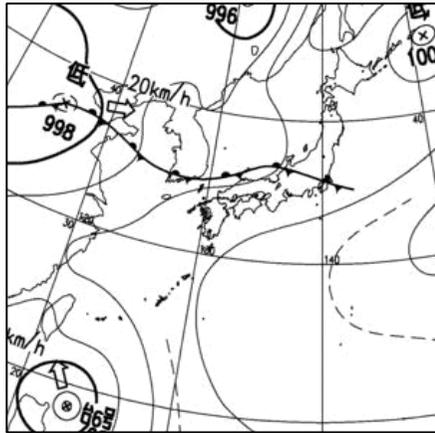
7月15日
高気圧の範囲内となる。



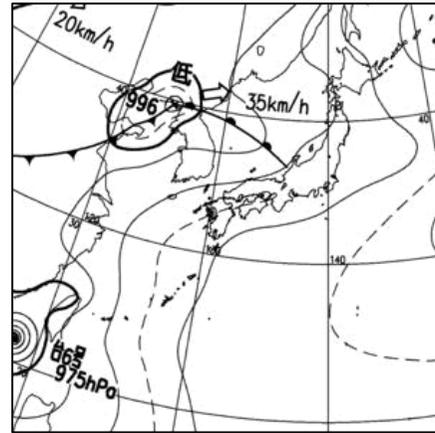
7月16日
高気圧の範囲内となる。

日々の天気図（午前9時）・気象概況

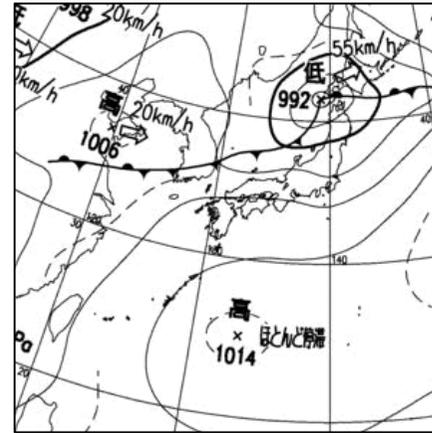
2009年7月17日～7月24日



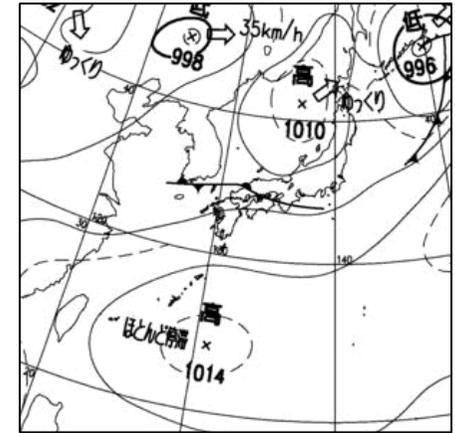
7月17日
高気圧の範囲内となる。



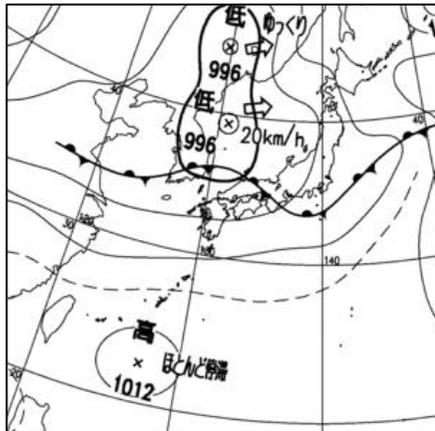
7月18日
高気圧の範囲内となる。



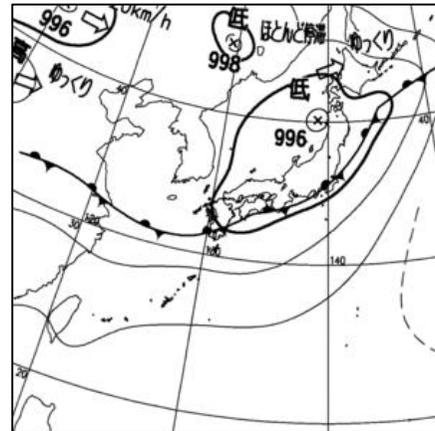
7月19日
高気圧の範囲内となる。



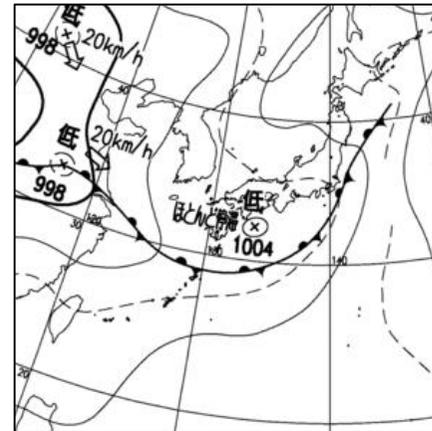
7月20日
高気圧の範囲内となる。



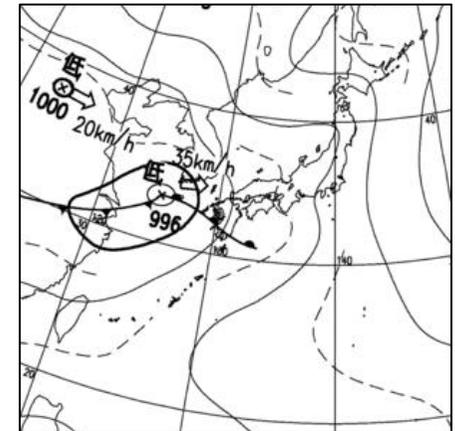
7月21日
高気圧の範囲内となる。



7月22日
高気圧の範囲内となる。



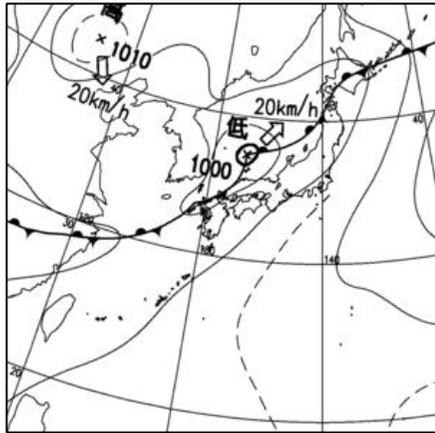
7月23日
高気圧の範囲内となる。大東島地方は湿った気流の影響を受ける。



7月24日
高気圧の範囲内となる。

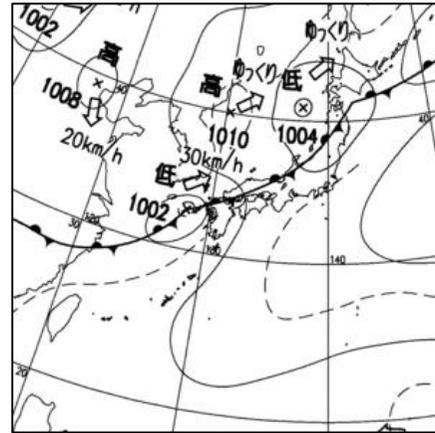
日々の天気図（午前9時）・気象概況

2009年7月25日～7月31日



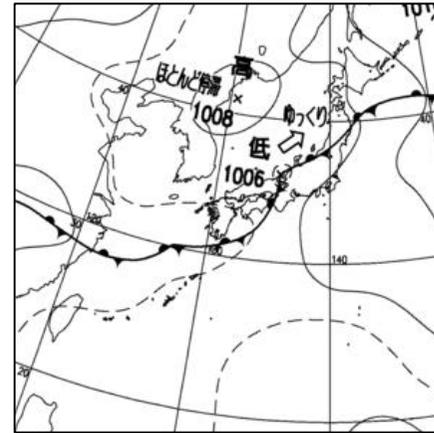
7月25日

高気圧の範囲内となる。



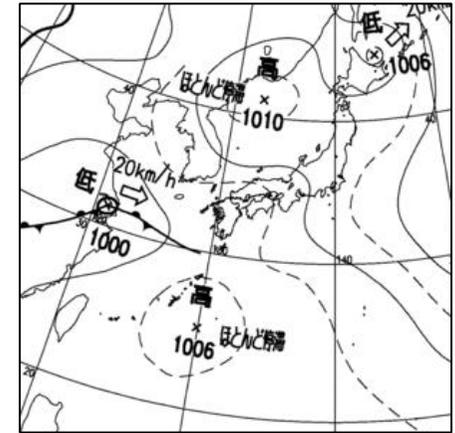
7月26日

湿った気流の影響を受ける。大東島地方は高気圧の範囲内となる。



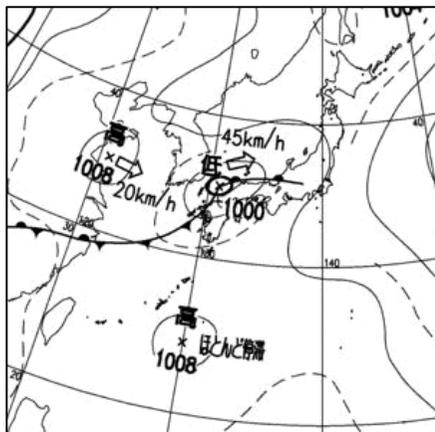
7月27日

湿った気流の影響を受ける。八重山地方は高気圧の範囲内となる。



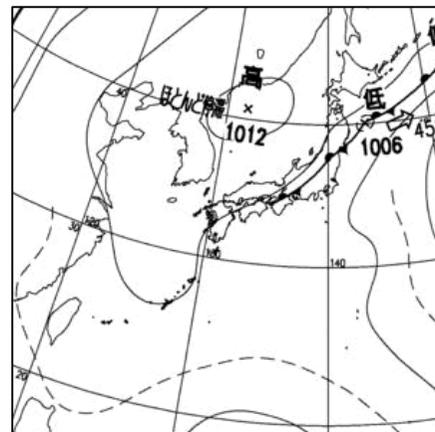
7月28日

高気圧の範囲内となる。



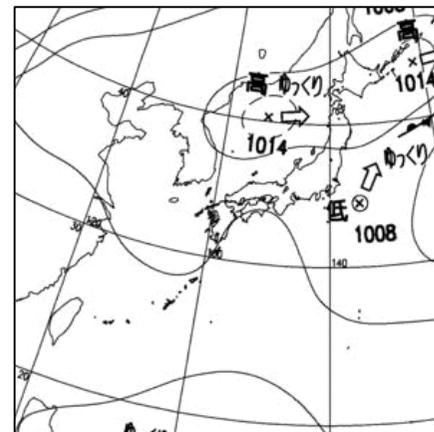
7月29日

高気圧の範囲内となる。



7月30日

高気圧の範囲内となる。

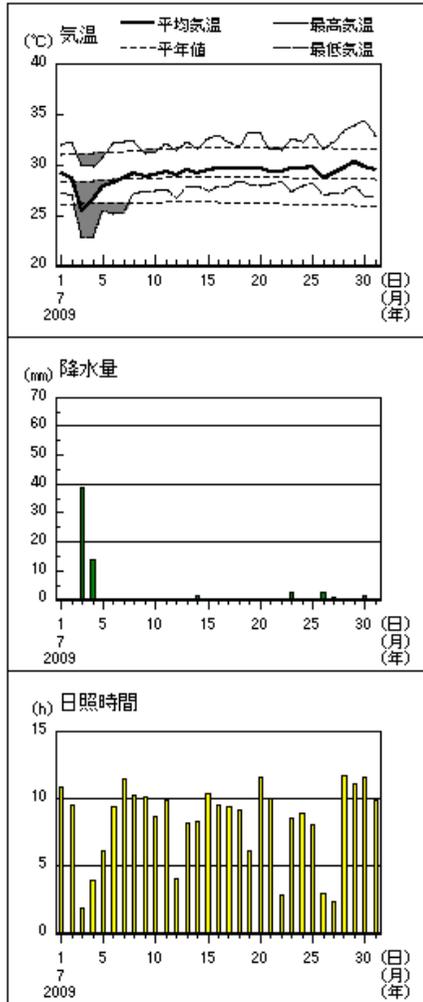


7月31日

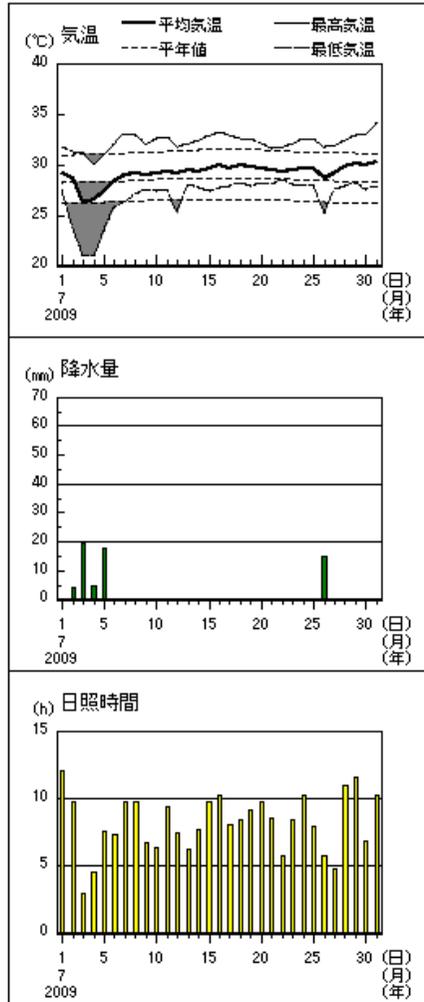
高気圧の範囲内となる。

地上気象：2009年7月1日-2009年7月31日

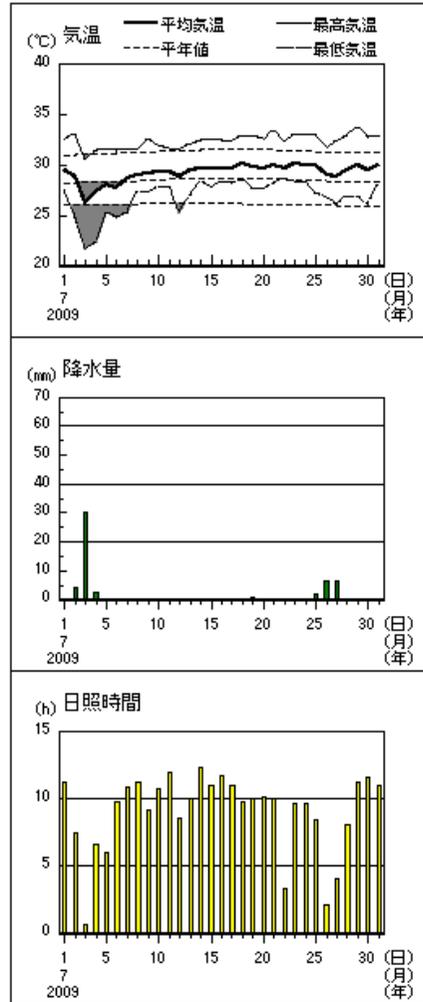
名護



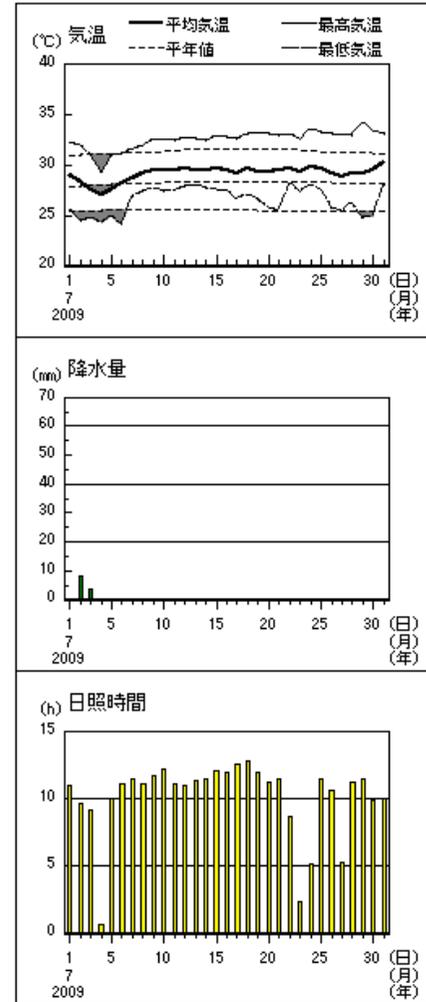
那覇



久米島

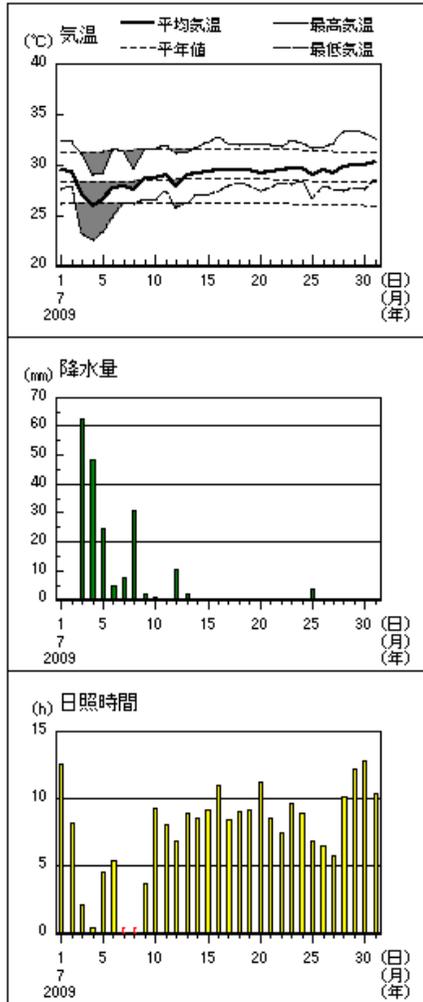


南大東島

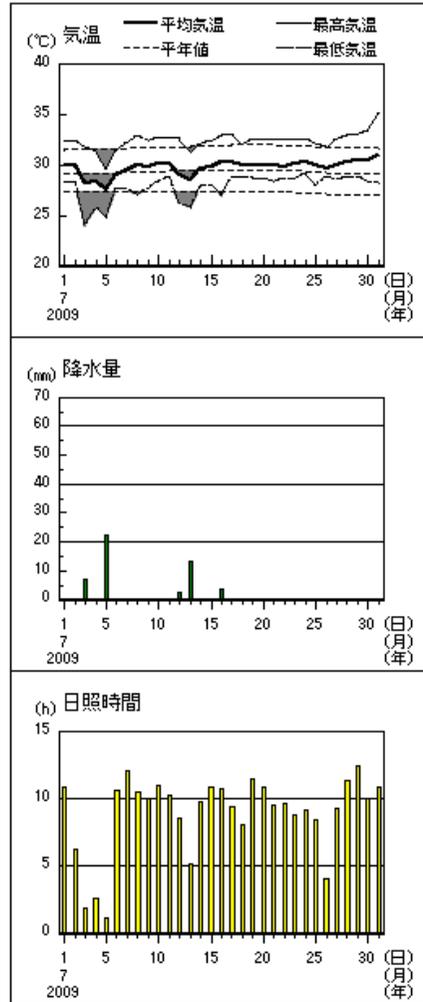


地上気象：2009年7月1日-2009年7月31日

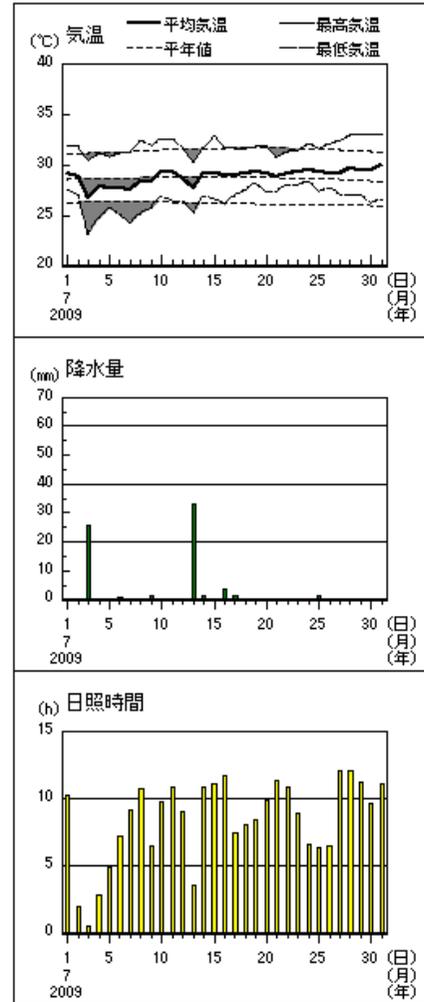
宮古島



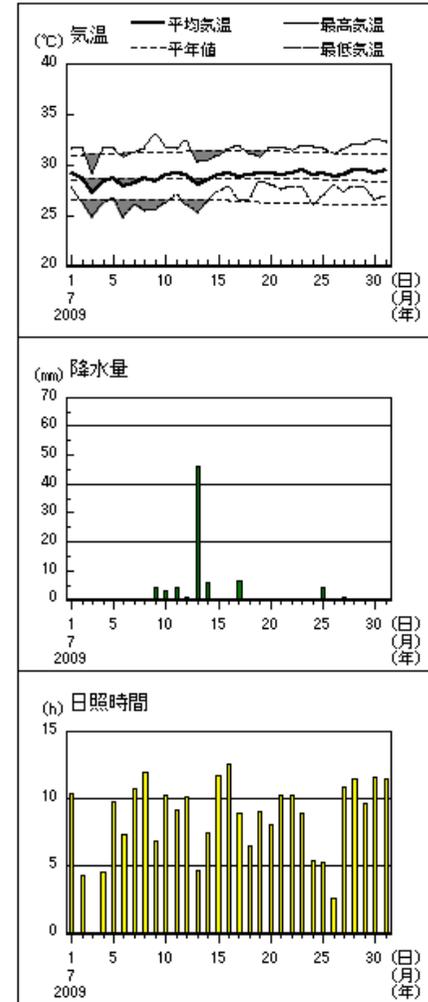
石垣島

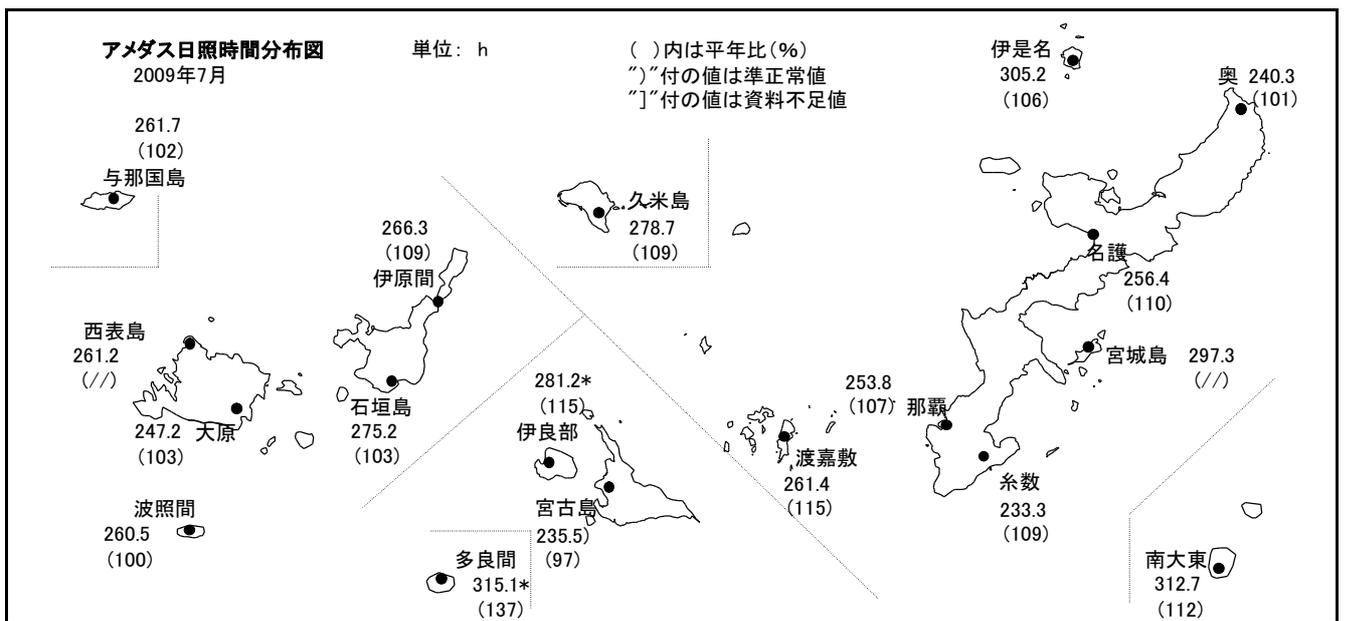
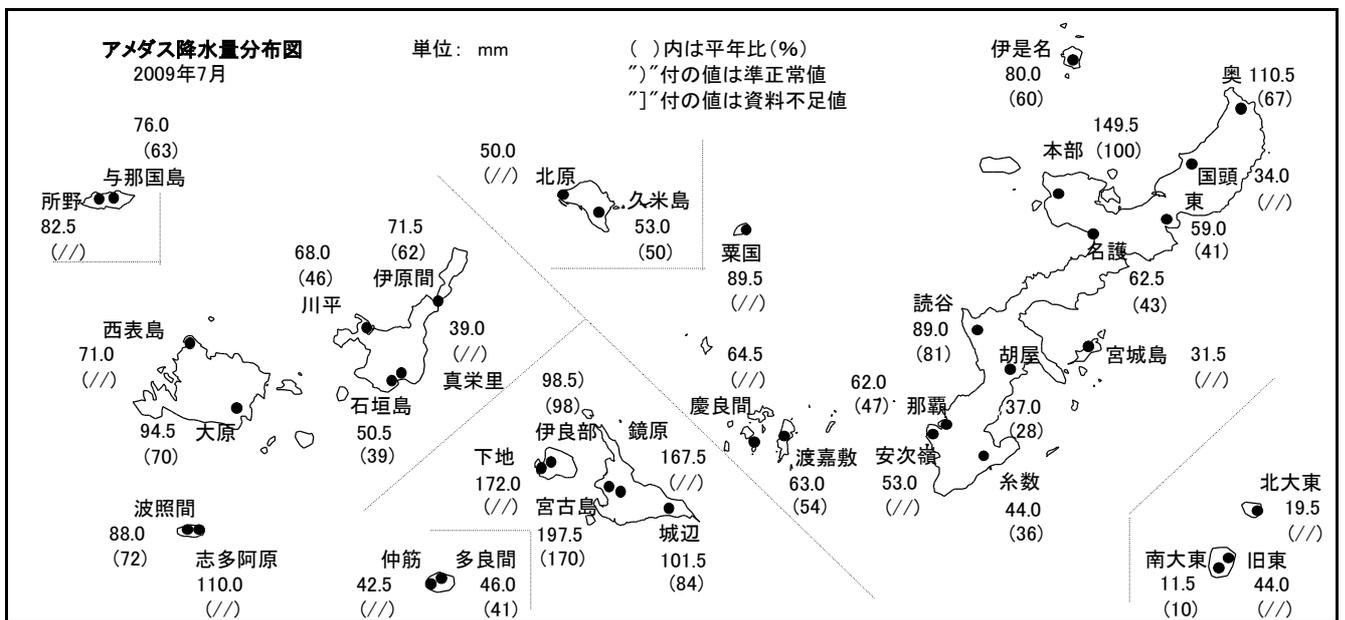
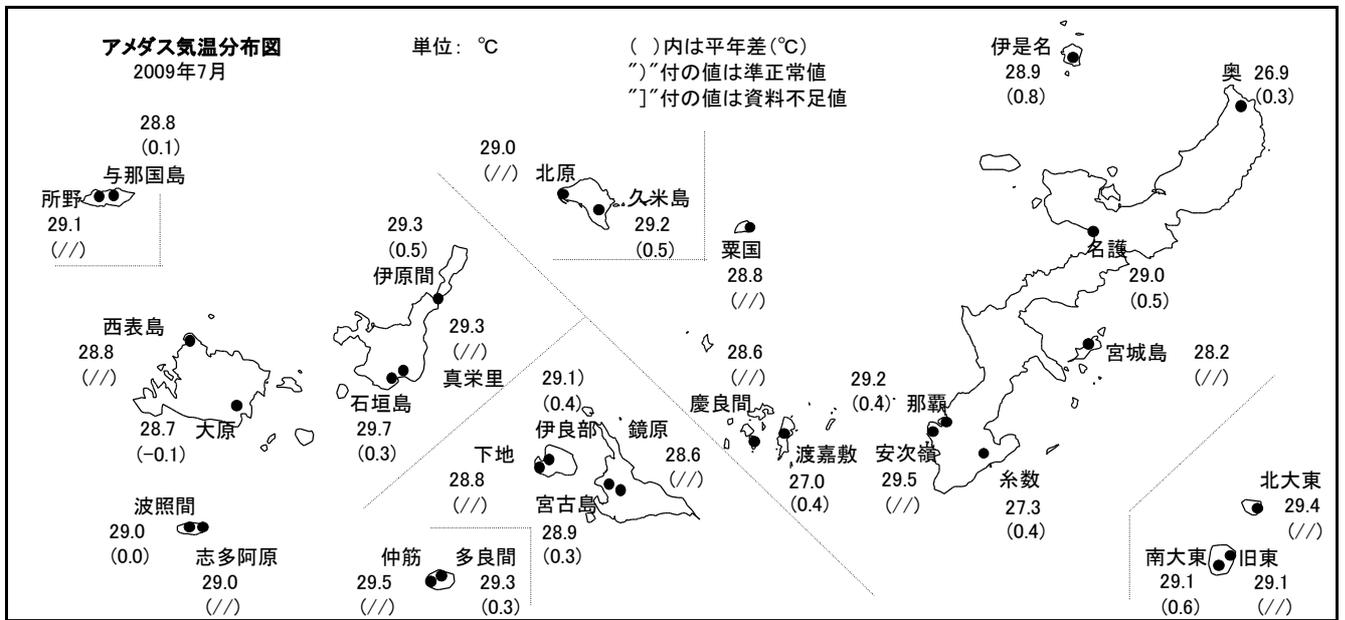


西表島



与那国島





- ・ アメダス値は統計期間が短いため、気象官署の平年差(比)と異なることがあります。
- ・ 統計期間が短いため、平年値が無い地点があります。
- ・ 日照時間は日照計の種類により差が生じるため、気象官署とアメダスのデータを単純に比較することはできません。なお、詳細は「2009年4月沖縄地方の天候」末尾の【参考資料】をご覧ください。
 (*付の値は太陽電池式日照計使用地点で、換算値を掲載しています。)

極値・順位値更新表（月）

2009年7月

官署名	要素	更新した値	観測日（月）	順位	極値（観測日・月）	
那覇	日最低気温の低い方から（℃）	21.0	2009年7月4日	1	21.2	1982年7月1日

注1：日の統計値は1位更新、月の統計値は3位更新まで記載します。

注2：1位が更新された場合の「極値」欄は、従来の極値とします。

生物季節観測表

2009年7月

観測場所	種別（代替種目）	現象	本年発現	平年値	昨年発現	発現	最早日	最晩日
			月 日	月 日	月 日	平年差		
(1) 植物								
宮古島	サルスベリ	開花	7月12日	6月19日	6月24日	+23	5月20日	7月23日
(2) 動物								
なし								

注1：平年差の“-”は発現が平年に比べて早く、“+”は発現が平年に比べて遅いことを示します。